

OK-11

Fujitsu Experience Day Osaka 2026

FUJITSU

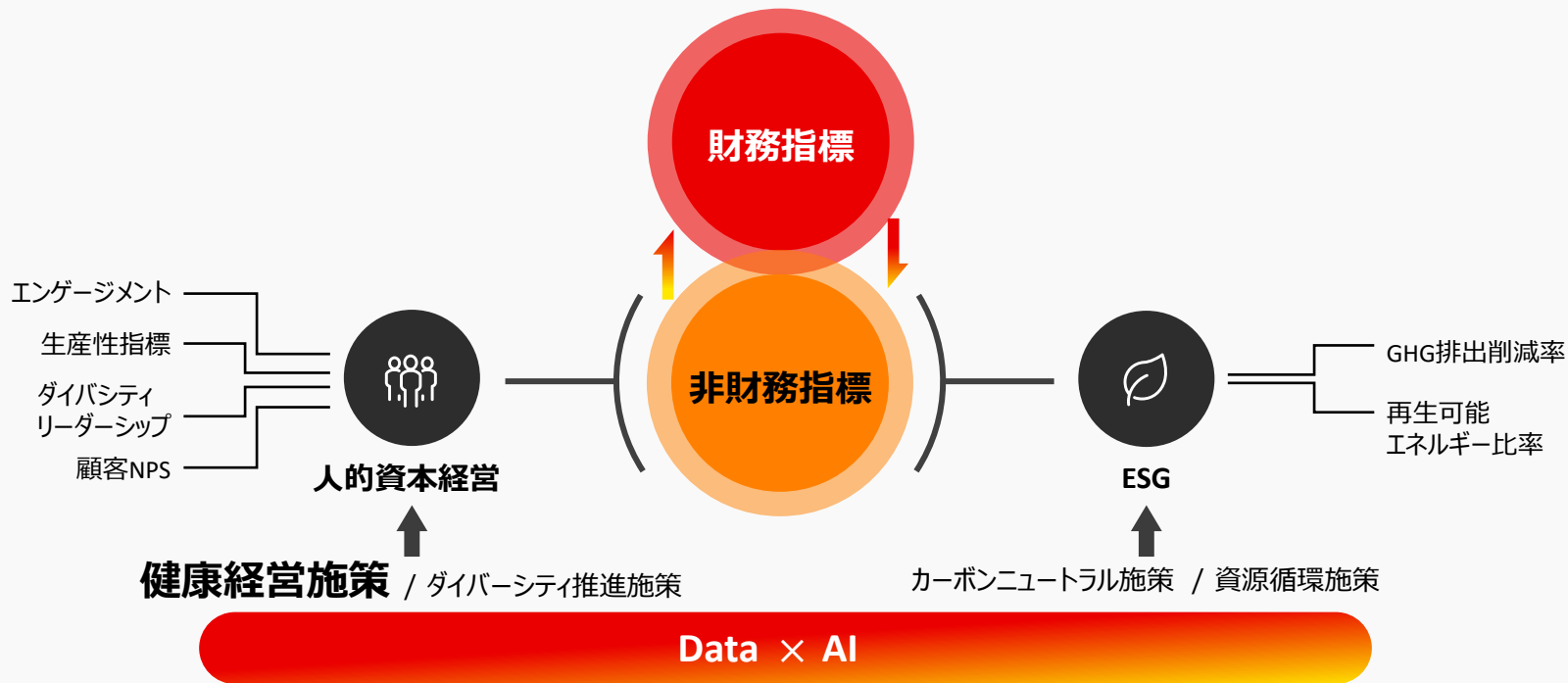
攻めの健康経営 (データ&AIで可視化)

2026年9月25日

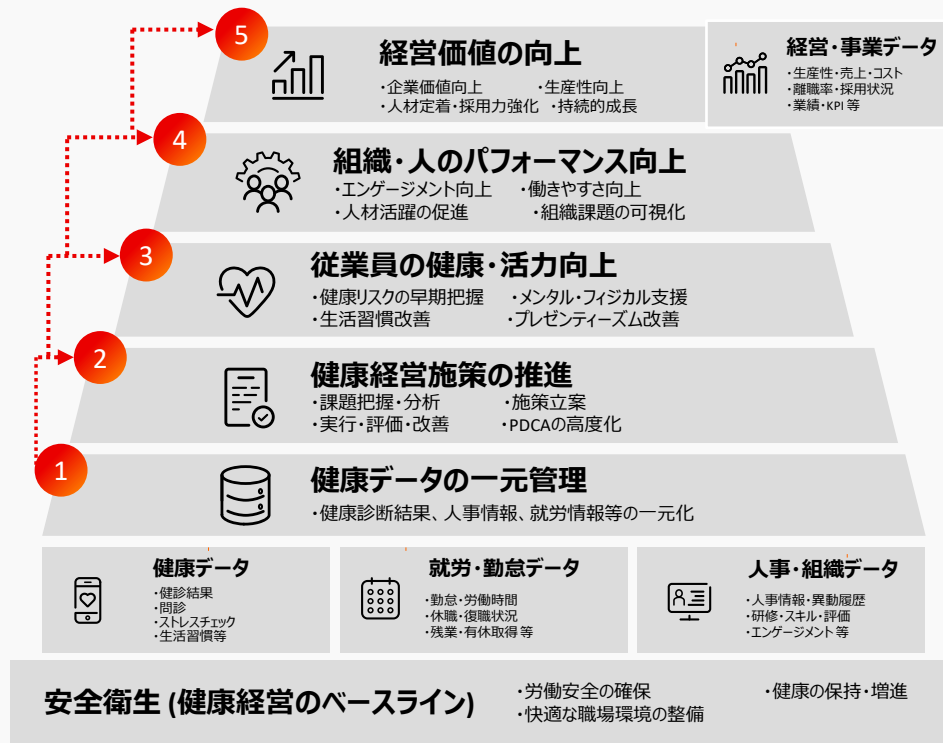
© 2026 Fujitsu Limited

財務・非財務を両輪とする企業価値向上

- 富士通は健康経営を重要な経営テーマとして位置づけ、従業員のWell-being向上を通じて企業価値の持続的な向上を目指しています。



- 散財するデータを見ても、施策の効果がわからない...そんなお悩みをお抱えではありませんか？



データから健康と経営の
因果関係を可視化

- データの一元化・現状把握から、施策の計画・実行までを一気通貫で支援



C 現状把握支援

LifeMark HealthAssist

健診データを一元化し、
業務を自動化・効率化

意思決定支援サービス（本日デモ）

健康課題の「真因」を可視化し、
打ち手の優先順位を提示

A 改善方針支援

健康経営ソリューション

経営的な視点で
データ分析・要因分析・
シミュレーション

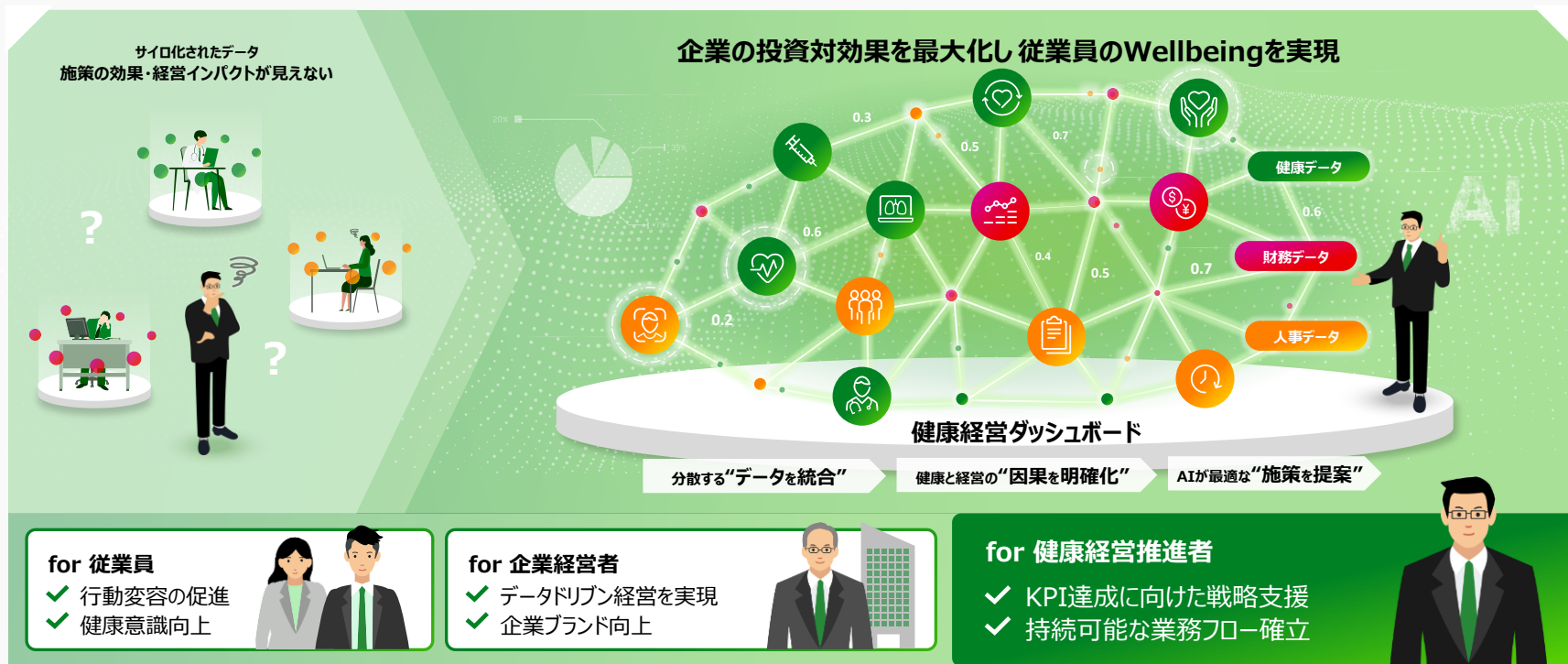
P → Do 計画・実行支援

健康経営コンサルティング

ウェルネス運動支援サービス

体力を「測る・気づく・改善する」

● 健康と経営の因果を可視化し 健康経営の意思決定をサポート



利用データの具体例

健康データから人事データや財務データまで多様なデータを取り込み

財務データ : 営業利益 / 売上収益 / 売上原価
健康診断結果 : 受診率 / メタボ該当
ストレスチェック : 高ストレス / 仕事と生活の満足度

エンゲージメントサーベイ : エンゲージメントスコア
Eラーニング : 参加有無
就労形態 : フレックスタイム適用率 / 裁量労働制適用率 / 所定外労働時間

因果分析の具体例

目的

エンゲージメント調査結果から
検討する働き方対策について

結果例

フレックス適用

高ストレス者率

エンゲージメント

考察

(仮説) フレックス適用した人の方が
ストレス度合いが削減し、エンゲージメント
スコアも向上している

→フレックス制度の見直しを検討

勤務データから検討する
社員のメンタル対策について

所定外労働時間

ストレスチェック

仕事と生活の
満足度

総合健康リスク

離職率

(仮説) 社員の健康と離職率は仕事と生活の
満足度に強い因果があり、満足度を上げる
には労働時間とストレスチェックの関係がみられる

→所定外労働時間が多い、かつストレス
チェックの結果が思わしくない人に対し、
フォローアップを行う



富士通 社内実践事例

データドリブンな健康経営

富士通では、健診データや人事データなど従業員約3万人の多様なデータと財務データを統合し、AIを活用して因果分析を行う実証を開始しました。因果関係を可視化することで、健康経営施策の投資対効果の把握や健康経営の各種指標の因果・相関分析に活用しています。

解決策

因果AIを活用し、従業員(約3万人)の健診データや人事データ等と財務データを統合し、因果分析を行う実証を行いました。

主要な利用データ

多様なデータを掛け合わせ(3万人×5年分)

財務	健康	人事
・営業利益 ・売上収益 ・売上原価、他	× ・健康診断結果 ・ストレス チェック、他	× ・エンゲージメント サーベイ ・Eラーニング ・就業形態、他

成果

- 因果関係が大きい指標を特定。
例：疾病による休業について、既知であった高ストレス者率の他に、仕事や生活の満足度が大きく影響していることが判明
- 今後、因果関係を考慮した重点取組の設定等に活用予定
- 本実証を基にしたサービス“Fujitsu意志決定支援サービス”を提供中

データの収集・統合・可視から改善のサイクルを一連で提供



健康データ一元化・産業保健業務の効率化により、 個人・職場へのアプローチを強化

LifeMark
HealthAssist

健康情報管理システム

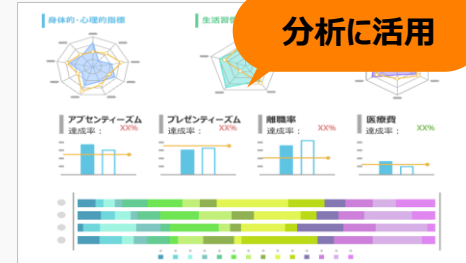
FUJITSU

受診状況の把握

健康状態の把握

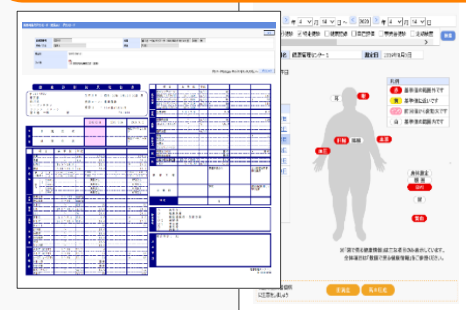
保健指導

データの一元管理



分析に活用

従業員・職員本人が確認できる画面も

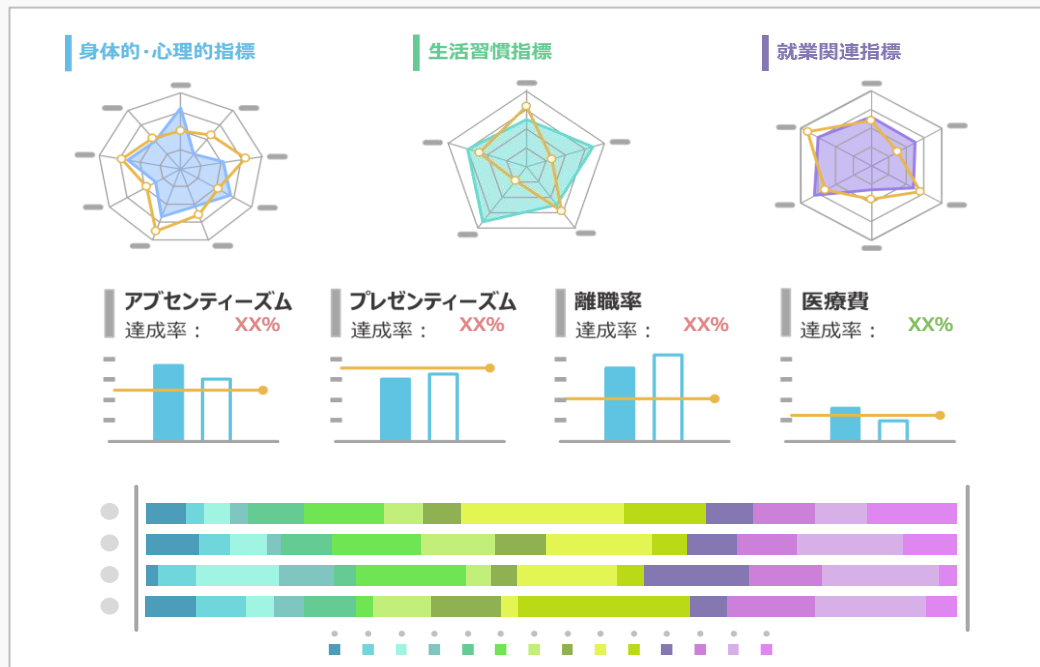


- 健診情報を一元化、1画面で閲覧可能
- 医療職目線のデザイン
- 健診業務全体をツールで補助・自動化し、産業保健スタッフの業務負担を軽減
(「健診管理」「受診勧奨」「判定」「報告」など)

健康リスクとアウトカムを可視化

LifeMark健康経営
ソリューション

FUJITSU



- 健診、ストレス、就業、レセプト、その他問診結果(生活習慣等)をもとに、**健康リスクの現状**を可視化
- **健康経営アウトカム（生産性指標、離職率、医療費）の推移**や**各健康リスクからの影響度**を数値で可視化

組織別・全体・各組織間の比較
さまざまな切り口で確認

東京大学との共同研究&当社での
実践結果をもとにロジック開発

健康経営を進めるために改善・強化が必要な健康指標を特定

Thank you

＜お問い合わせ先＞
富士通Japan株式会社
ヘルスケア事業本部 ウェルネス事業部
メール： fj-hl_wellbeing@dl.jp.fujitsu.com

